

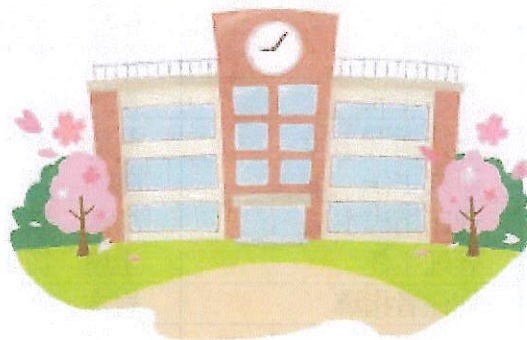


わかば

流山市立北部中学校
令和7年4月14日
生徒数 466名

令和7年度が、充実した1年になりますように！

いよいよ新しい学年がスタートしました。令和6年度末の人事異動により11名の教職員が北部中を去られて寂しかった職員室も、4月1日に11名の新しい職員を迎え、気持ちを新たにしているところです。また、子ども達が楽しく、そして心身共に安心して過ごせる学校を目指して、北部中職員、心を一つにして、教育活動を進めていく所存です。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



さて、新2・3年生は7日に始業式を行いました。子ども達が目を輝かせながら、話を聴いていたのが印象的でした。その表情から、期待を胸に新たな1年を送ろうという気持ちが伝わってきました。また、その後に両学年ともクラス発表をし、新しい仲間や先生との出会いを楽しんでいました。これから、普段の生活や行事などを通して、どんどん絆を深めていって欲しいと思います。そして、9日には156名の新入生が希望を胸に入学してきました。昨年の入学式は風雨が強く、開催自体が危ぶまれるほどの荒天でしたが、今年は桜も満開で、天候も穏やかで絶好の入学式日和でした。そういう中、新入生は新しい環境に期待と不安を持ちながらも、立派な態度で式に参加できました。まずは、早く中学校に慣れて、元気にそして安心して生活・学習できるようにって欲しいと思います。

ところで、子ども達を取り巻く社会情勢や気候変動などは、日々めまぐるしく変わっています。近年のコロナウイルス感染症の拡大、地球温暖化、そしてICTの積極的な活用、日米の政権交代等によってその変化は加速しているような気がします。「不易と流行」という言葉があります。いつまでも変わらないもののの中に新しい変化を取り入れることという意味で使われますが、学校もその時の状況を踏まえながら、変化に対応していかなければならないと考えています。昨年度も体育祭の10月開催、部活動朝練習の原則廃止、夏季の最大完全下校の変更、ポロシャツ（指定）の導入、ポロシャツや体操服の裾出しを認める、身につけるものの色を緩和、水や食料の備蓄など教育課程や学校生活の約束事の一部を見直しましたが、今年度も下記のような見直しをする予定です。

- ・2期制への移行期間という位置づけで、通知票を年2回にする（市内小中学校共通）
- ・令和7年度（今年度）で、市内大会と市内音楽発表会を廃止（市内小中学校共通）
- ・ラーケーション（年3日以内）の導入（市内小中学校共通）
- ・全学年クラス替えを実施（人間関係の固定化を解消、コミュニケーション力の育成）
- ・原則、生活記録ノートタブレットに移行（心のノートとの連動、ICTの活用）
- ・救命救急講習を職員・生徒共に実施（万が一の時に動ける人物の育成）
- ・合唱コンクールの文化会館での開催（保護者の参観を可能にする）等

※なお、体育祭の10月開催等、一昨年、昨年見直したものは継続します。

最後になりましたが、今年度も保護者、地域の方々にはたくさんお世話になると思います。今年度も北部中の教育活動へのご理解とご支援を賜りますよう、何とぞよろしくお願いいたします。

流山市立北部中学校長 高柴 昭宏